

令和元年9月18日

那須烏山市議会議長 沼田邦彦 様

文教福祉常任委員会委員長 滝口貴史

決算審査結果報告書

本委員会に令和元年9月9日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年10月那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

- 1 審査期日 令和元年9月10日（火）及び11日（水）
- 2 審査場所 那須烏山市役所 南那須庁舎 第二委員会室及び烏山放課後児童クラブ
- 3 出席委員 滝口貴史、青木敏久、福田長弘、相馬正典、田島信二、久保居光一郎
- 4 説明のための出席者
市民課長 皆川康代、福祉事務所長兼健康福祉課長 水上和明、こども課長 川俣謙一、
学校教育課長 神野久志、生涯学習課長 菊池義夫、他関係職員
- 5 審査事項
本委員会の所管する市民課、健康福祉課、こども課、学校教育課及び生涯学習課の平成30年度那須烏山市の一般会計及び特別会計歳入歳出決算

6 審査結果

本委員会が付託を受けた一般会計及び特別会計の決算については、全会一致で原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意見を付することとします。

市民課

- ・熊田診療所は、運営基金の取り崩しや一般会計からの繰入金に頼らざるを得ない状況である。へき地診療所の目指すべき方向を再認識し、さらに経営の視点による対策を講じることを要望する。

健康福祉課

- ・地域包括支援センターからすやまの開設、障がい者相談支援センターへの相談支援包括化推進員の配置等、より専門的な相談支援体制の充実が図られている。相談窓口の多様化は、個別のニーズに合わせたきめ細やかな対応ができるという利点がある一方、

どこに相談すればいいかわかりづらいという側面もある。市民が一番先に相談を訪れる健康福祉課においては、適切な相談窓口の案内をすると共に、相談者に寄り添った丁寧な対応に努められたい。

こども課

- ・ 烏山放課後児童クラブを、烏山小学校内の空き教室を改修しこども館から移転した。環境の改善が図られ、子供たちは移転前より落ち着いて過ごすことができているとのことである。今後も、委託事業者との連絡を密にし、子供たちが安全安心に過ごすことができるよう環境整備に努められたい。

学校教育課

- ・ 夢の教室は、子供たちにとって大きな刺激となる事業である。有名人だけでなく、身近な地域の方の中にもロールモデルとなる優秀な人材が多数いるため、郷土愛の醸成のためにも地域の方を講師として起用することも検討されたい。
- ・ 中学生広島平和記念式典派遣事業について、派遣前には全生徒に対し、世界情勢等も含めた十分な学習を実施されたい。そのうえで、代表で派遣される子供たち一人一人が、現地で平和の大切さを直に感じてくることが肝要である。なお、派遣人数については、県内市町の状況等も参考に検討されたい。
- ・ スーパーティーチャー育成事業が開始から3年を経過し、教員の意識及び授業力向上による児童生徒の学力向上への波及効果が期待される。今後も、長期的な視野に立って学力向上を目指していけるよう、スーパーティーチャーのさらなる育成及び活躍を推進されたい。

生涯学習課

- ・ 体育施設について、段差や多目的スペースの不足等により、誰もが快適に利用することができるとは言えない状況が見受けられる。ハード面の整備が難しい場合においては、利用者の状況に合わせてその都度柔軟に対応する等、十分な配慮をされたい。
- ・ ジオパーク構想を重点事業としているが、地方創生推進交付金の終了を機に、事業の抜本的な見直しを要望する。文化財や自然資源の教育への活用の際に、意欲的に活動している個人や団体へは支援の充実を図られたい。